



## 今日の内容

- (1) 都会で暮らす高齢者の現実
- (2) みま～もの目指すネットワークと活動紹介
- (3) 地域連携のキーワード！！

**地域包括支援センターは65歳以上の方の相談窓口です**

**自立して生活できるよう支援します**  
介護予防ケアマネジメント

- 要支援1・2と認定された人は介護保険の介護予防サービスを利用できます。
- 支援や介護が必要となる恐れの高い人は、市区町村が行う介護予防事業を利用できます。

**みなさんの権利を守ります**  
権利擁護

- 皆さんが安心していきいきと暮らせるよう、みなさんの持つさまざまな権利を守ります。虐待への対応や、成年後見制度の紹介や、消費被害などに対応します。

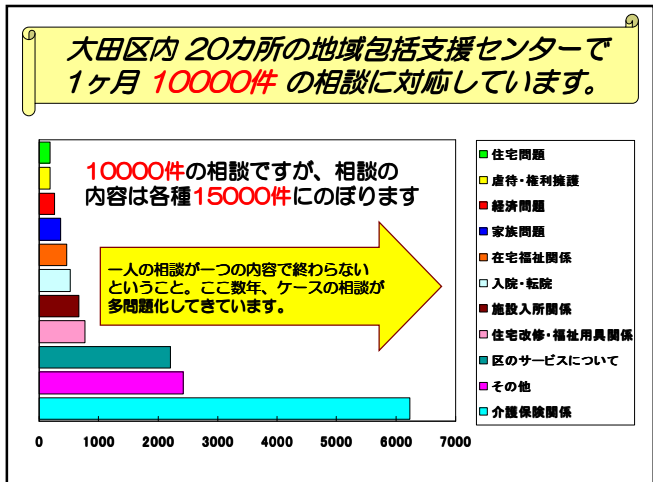
保健師・看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャーの専門職が、高齢者が「地域で、その人らしい生活を送るために」このような支援を行っています。

**何でもご相談ください**  
総合相談

- 介護に関する相談や悩み以外にも、福祉や医療など何でもご相談ください。

**さまざまな方面からみなさんを支えます**  
包括的・継続的ケアマネジメント

- 暮らしやすい地域にするため、さまざまな機関とのネットワークをつくり調整します。



これはあくまで、  
地域包括支援センターに  
たどり着くことのできた件数。

**地域包括支援センターNHK全国アンケート**

調査時期 2010年8月～9月  
回答センター数 3309 (回答率79.5%)

- ・ 1人暮らしの高齢者で、介護が必要な状態だと思われるのにサービスを利用していない人

**3万8588人**

→ ただしこの数字はあくまでも『氷山の一角』

## 私たちの働く大都市の高齢者の特徴

- ・ ひとり暮らし、または高齢者のみの世帯が多い。
- ・ 集合住宅で暮らす高齢者が多い。
- ・ 会社勤めで、職場と生活の場が別の方が多い。



近所付き合いや、人間関係が希薄な傾向にある。

自分で意識的に関わりを持たなければ、容易に孤立してしまう。

NHK「首都圏ネットワーク」放送

平成20年10月9日特集

## 都会で暮らす

## お年寄りの現実 大森

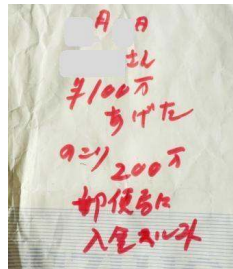
Aさん89歳 女性

一人暮らし。  
認知症があるケース。自らはSOSを出せない。  
第三者が金銭詐取の形跡あり。

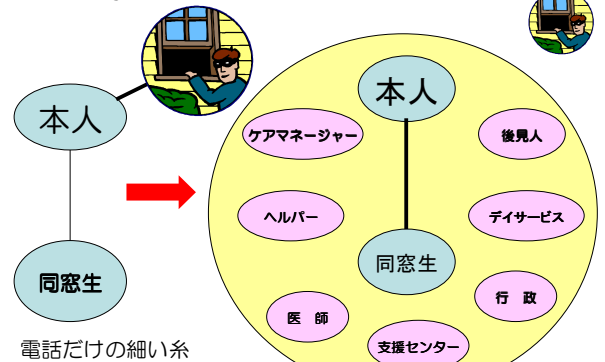
手をさしのべたのは・・・

高校時代の同窓生、電話だけのつながり。  
心配だけでも行けない・・・

現金残高	支店別	支店別
クレジット口座	現金残高	現金残高
Aさんの名義の		
2000万の郵便局入金印		



Aさんの場合



## このような状況になるまで

# 「気づかれない！」

大都市部の高齢者の現状があります。

認知症高齢者への対応は、その異変や変化に「気づく」ことから始まる。

私たちが関わる大都市部地域社会のこれからは、

「一人暮らしで  
90歳！そして・・・、  
なおかつ、認知症」

というケースがごく普通になる。



介護が必要になったら、  
いつでも相談に  
来てください!!

## 素朴な疑問・・・

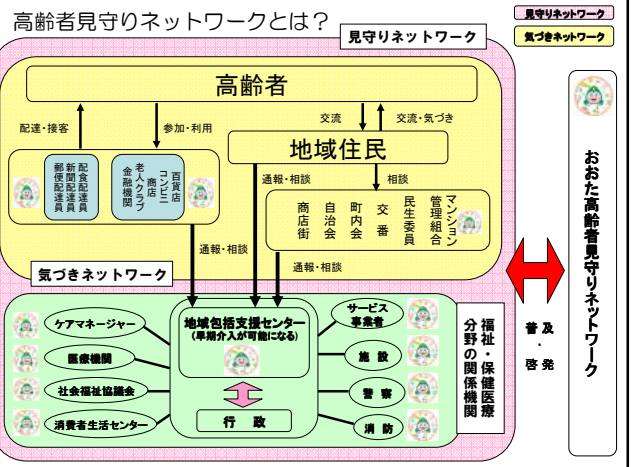


いざ、介護が必要になったら、誰が  
相談に来れるのでしょうか・・・???

## みま～もの形成過程から ネットワークの形成過程 を考える

## みま～もの目的!

住民同士の日常のお付き合いから、  
適切な時期に専門職に  
つながるシステムづくり!!



平成20年1月「おおた高齢者見守りネットワークをつくる会」発足!

発足当時 15名からのスタート

- ・みま～もに関わる協賛企業・事業所、  
各団体は100を超える。
- ・会の財源 : 協賛事業所の協賛費。

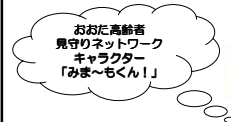
**協賛企業・事業所は、  
金も出し、汗もかく!**

協賛病院 7 協賛医療・介護事業所 35 協賛企業 23

協賛施設 4 協力包括支援センター 20 協力団体 11

## おおた高齢者見守りネットワーク

(愛称: みま～も)



### 活動の三本柱

- ① 地域づくりセミナー
- ② 高齢者見守りキーホルダー登録システム
- ③ みま～もステーション

# おおた高齢者見守りネットワーク活動の3本柱！

## ① 地域づくりセミナー



## 地域づくりセミナーの目的

- ① 地域住民に「気づき」の視点を伝え、ご近所の「異変」に気付くことができる（ご近所に関心を持つ）人を増やす。
- ② 住民の「気づき」を、必要な時期に地域包括や専門機関につないでもらえるよう、顔の見える関係をつくっておく。・・・講師は、基本的に地域の専門家！
- ③ 専門機関が企画・運営をする中で、対応のネットワークが成長することで、迅速かつ適切な個別対応につながる。

# おおた高齢者見守りネットワーク活動の3本柱！

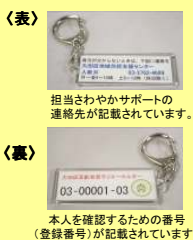
## ② 高齢者見守りキーホルダー

### 高齢者見守りキーホルダー登録システム

4年前、みま〜から誕生したキーホルダーシステムが、H24年度より、大田区の高齢者施策になりました！  
また、全国の自治体からの問合せも殺到しています！

あなたが、もし外出先で突然倒れるなど、身元が確認できない状態で救急搬送された際、迅速に身元確認が行えるようになるためのものです。  
また、認知症の方の徘徊などの際にも身元確認に役立つものです。キーホルダーが目印になり、搬送先病院や警察などが、さわかやサポートへ連絡し、あなたの登録状況を確認することができます。

外出先にはキーホルダー



情報の更新は、毎年誕生日に実施！  
「つづなごりの更新」もきめて

自宅での万が一には、このキーホルダー情報カード！！



平成21年8月1日申請開始！

区内9地域包括支援センターで登録者4000名！！

そして、さらに！！

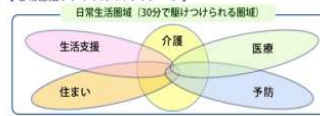




# 地域連携のためのキーワード

## 発想の転換！！

### 【地域包括ケアシステムのイメージ】



#### 【地域包括ケアの5つの視点による取組み】

地域包括ケアを実現するためには、次の5つの視点での取組みが包括的（利用者ニーズに応じた1～5の適切な組み合わせによるサービス提供）、継続的（入院、退院、在宅復帰を通じて切れ目のないサービス提供）に行われることが必須です。

1. 医療との連携強化
  - 24時間対応の在宅医療、訪問看護やリハビリテーションの充実強化
  - 介護職員によるたんの吸引などの医療行為の実施
2. 介護サービスの充実強化
  - 特養などの介護施設の緊急整備（平成21年度補正予算：3年間で16万人分確保）
  - 24時間対応の定期巡回・随時対応サービスの新設など在宅サービスの強化
3. 予防的推進
  - できる限り要介護状態とならないための予防的取組や自立支援型の介護の推進
4. 見守り、配食、買い物など、多様な生活支援サービスの確保や権利擁護など
  - 一人暮らし、高齢者夫婦のみの世帯の増加、認知症の増加を踏まえ、様々な生活援助（見守り、配食などの生活支援や財産管理などの権利擁護サービス）サービスを推進
5. 高齢期になっても住み続けられることのできる高齢者住まいの整備（国土交通省との連携）
  - 一定の基準を満たした有料老人ホームと高齢者を、サービス付高齢者住宅として高齢者住まい法に位置づけ

## ネットワーク組織の定義

特定の共有された目的実現をめざす  
独立した組織・個人の集合体。

## ネットワークは 「目的」ではなく「手段」



- ・何のためにネットワークをつくるのか？
- ・ネットワークを使って何をするのか・・・？



住民同士の日常のお付き合いから、  
必要な時期に専門職につながり、  
適切な支援につながるシステムづくり！



## 私たち専門職が築くネットワークは誰のため？

地域のため、高齢者のため、家族のため・・・？  
やらなければいけないから・・・？

自分たちの本来持っている  
専門性を発揮できる  
仕事をするため！

生死に関わるぎりぎりの状態で  
通報により初めて介入！

（こんなときは専門職も  
へったくれもない！）

こんな気の重い、  
苦痛な  
ことはありません！！



## 大都市部における 新たな連携のキーワード！

それは・・・、

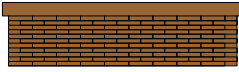
Win-win!

限界を知ることから一歩が始まる・・・



ネットワーク構築に向かうとき、  
壁や限界は、たしかにありますよね・・・。

- ・ 個人情報の壁
- ・ 情報公開・共有の壁

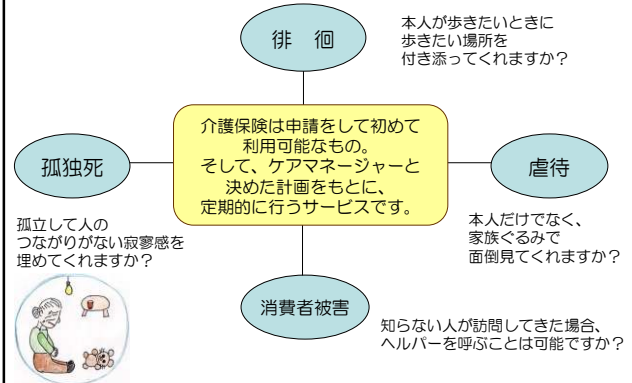


行政、医療・介護保険制度・・・  
民生委員・地域住民それぞれに、

**限界は当然あるもの！**

それぞれ自分の専門・分野の限界を知ることが第一歩！  
必要性を求めるからこそ  
自分たちの周りに、どれだけつながりあうことのできる  
社会資源・人的資源が見えてくる！

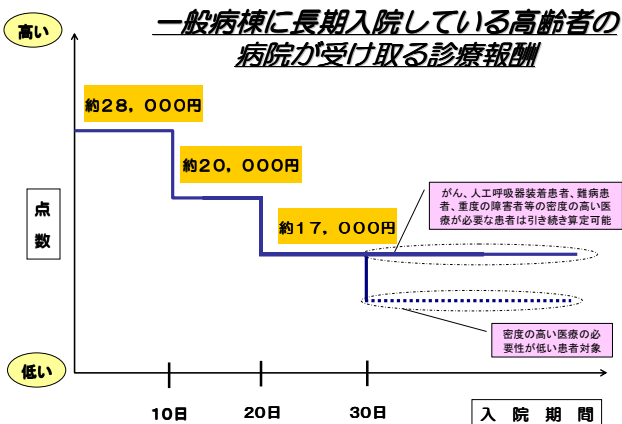
介護保険サービスはこのような場合**無力です！！**



### 品川区・大田区内にある 病院数の比較

病院数	現在	平成11年
病院の総数	42 ←	53
一般病床のある病院	23 ←	52
療養病床のある病院	17 ←	11
精神病床のある病院	3 ←	6

**病院が減っている！**

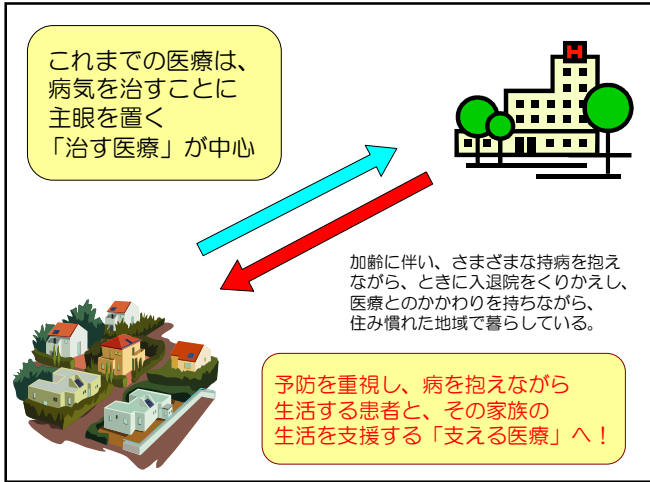


平成24年4月12日 NHKニュースウォッチ9「患者の早期退院 苦悩する医療現場」より

患者の平均入院期間が1日延びると、  
年間 **億単位** で報酬減！

**病院の命題：**

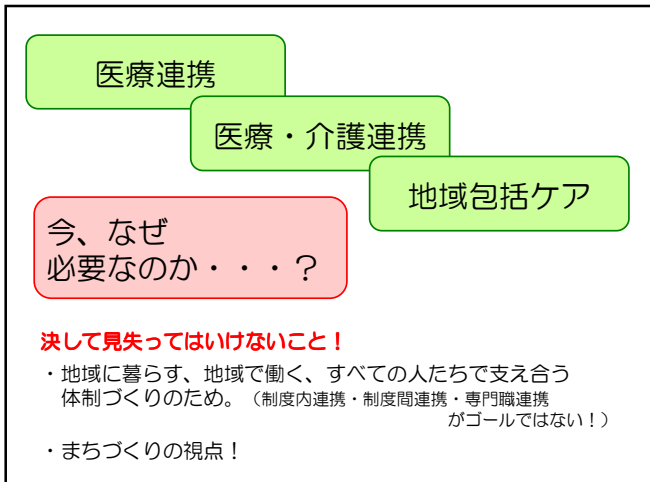
**治療が終わった患者を、  
いかに速やかに退院させるか！**



### 自治体に求められる役割・課題

行政が何をするかの時代ではない。行政と地域がどうやって協働していくかの時代。

誰がこの協働をコーディネートしていくのか？



ブログ「みま〜もとともに歩んで 一地域包括支援センターの気の向くまま・感じたまま〜」  
「おおた高齢者見守りネットワーク」の取り組みがタイムリーでご覧いただけます。

URL : <http://noborisawa.blog121.fc2.com/>

こちらから、写真でつづる「おおた高齢者見守りネットワーク」は年間の歩みを見ることができます。

地域包括ケアに欠かせない多彩な資源が織りなす地域ネットワークづくり

高齢者見守りネットワーク「みま〜も」のキセキ

連携先

- ・高齢者見守りネットワーク (「みま〜も」)
- ・大田区地域包括支援センター一歳 (社会福祉法人大田区社会福祉協議会福祉課・社会福祉協議会 大田区本部、大田区、大田区民 大田区民センター、大田区民センター、大田区民センター、大田区民センター)

ライブ出版社

おおた高齢者見守りネットワーク主催

### 大田区発！地域包括ケア

～町づくりのために今専門職ができること～

ご参加お待ちしております。

開催日時：平成26年6月24日(土)

13:30 第1部 (講演・シンポジウム)

16:45 第2部 (懇親会)

会場：大田区産業プラザ (P.O.) 2階 小展示室

参加費：無料 (懇親会参加費のみ 3,000円)

# ソーシャルワークの定義

(国際ソーシャルワーカー連盟/IFSW)

ソーシャルワーク専門職は、人間の福利（ウェルビーイング）の増進を目指して、社会の変革を進め、人間関係における問題解決を図り、人びとのエンパワメントと解放を促していく。ソーシャルワークは、人間の行動と社会システムに関する理論を利用して、人びとがその環境と相互に影響し合う接点に介入する。人権と社会正義の原理は、ソーシャルワークの拠り所とする基盤である。

